Hitachi Koki
POWER TOOLS for PROFESSIONAL

取扱説明書

用途

●一般建築作業における釘打機等エア工具への
　圧縮空気供給源

日立工機 高圧エアコンプレッサ

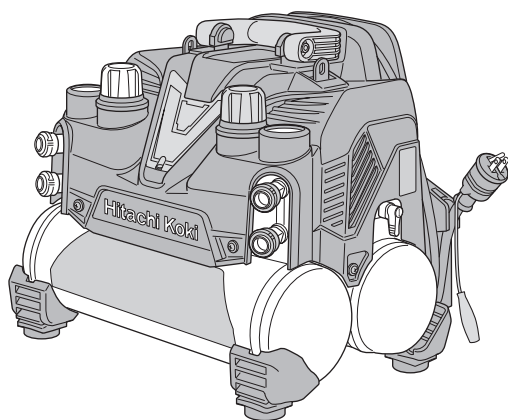
105 L／min　**EC 1245H2**

このたびは日立工機高圧エアコンプレッサをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

はじめに

使い方

その他

HITACHI

高圧エアコンプレッサを安全に正しくお使いいただくために

○この取扱説明書は、必ず運転および保守点検を担当される取扱者の手近な所に保管しておいてください。

○この取扱説明書・注意銘板の内容を最後までよく読み、すえ付け・運転・保守点検を実施してください。

○すえ付け・運転・保守点検の前に必ずこの取扱説明書をよく読み、安全の情報や注意事項・操作・取扱方法などの指示に従い、正しくご使用ください。

○常に、この取扱説明書に記載してある使用範囲を守ってご使用ください。また、正しい保守点検を行い、故障を未然に防止するようお願いします。

○この取扱説明書に記載していない操作・取扱い、日立工機純正部品以外の交換部品の使用や改造などを行わないでください。機械の故障・人身災害の原因になることがあります。

これらに起因する事故については、当社は一切の責任を負いません。

○この取扱説明書で理解できない内容・疑問点・不明確な点がございましたら、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

○本機は駆動源にインバータモーターを採用しており、高電圧を発生する部分がありますので、分解・改造は絶対に行わないでください。

○運転不能・故障などが発生した場合は、すみやかに次のことをお買い求めの販売店にご連絡ください。

・形名、製造番号、ご使用時間など
・異常内容（異常発生前後の状態を含め、できるだけ詳細に）

○本機は釘打機などの空気工具用の空気圧縮機として製造していますので、連続運転となる用途には使用しないでください。

○本機には、一般用取出し口［約 0.8 MPa {8.2 kgf/cm²}］と高圧用取出し口［約 2.5 MPa {25.5 kgf/cm²}］を設けてありますが、高圧用取出し口には、絶対に一般用のホース類、工具類を接続しないでください。

○釘打機および空気工具の取扱いについても、ご使用機器の取扱説明書をよく読みお取扱いください。

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注 ：**製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

高圧エアコンプレッサの安全上のご注意

- けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠警告

① **本機は釘打機などの空気工具用の空気圧縮機として製造していますので、連続運転となる用途には使用しないでください。**

② **高圧エアコンプレッサで、圧縮・圧送できるガスは、空気（大気圧状態）のみです。空気以外のガスは絶対に使用しないでください。**
- さびつき、異常摩耗、火災や爆発事故につながります。

③ **改造は絶対にしないでください。**
- 人身事故につながる場合があります。

⚠警告

運転準備

① **作業場は、いつもきれいに保ち、十分明るくしてください。**

② **作業環境に対応し、保護メガネ・保護帽・安全靴・防音保護具などを着用してください。**

③ **近くに爆発性・引火性ガス（アセチレン、プロパンガスなど）・石油類（ガソリン、灯油など）・有機溶剤（シンナーなど）・爆発性粉じんなどや火気のある場所では絶対に使用しないでください。**
- 火災や事故の原因となります。

④ **雨や蒸気などの水分のかかる場所では、使用しないでください。**
- 漏電、各部の発錆、寿命低下の原因となります。

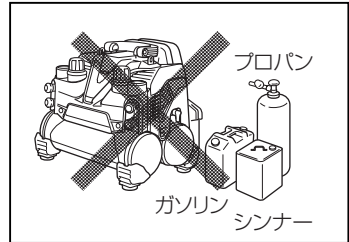
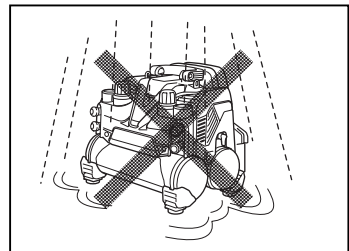
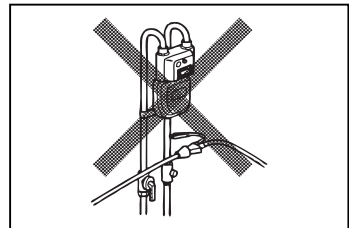
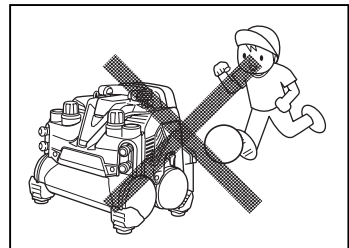
⑤ **電源プラグの金属部には手を触れないでください。**
- 感電事故につながります。

⑥ **濡れた手では絶対に触れないでください。**
- 感電事故につながります。

⑦ **周囲の温度が圧縮機運転中に 5 ～ 40 ℃の範囲で使用してください。**
- 軸受寿命低下、焼き付き、動作不良、破損の原因となります。

⑧ **アース線はガス管には絶対に接続しないでください。**
- ガスによる火災や爆発事故の原因となります。

⑨ **お子様や作業関係者以外は近づけないでください。**
- 人身事故の原因となります。

③

④

⑧

⑨

⚠警告

⑩ **移動や落下の恐れがあるので、床面が硬い、水平な面に置いて使用してください。移動や落下の恐れがある不安定な場所では絶対に使用しないでください。**
- 人身事故の原因となります。

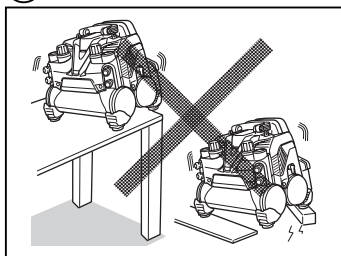
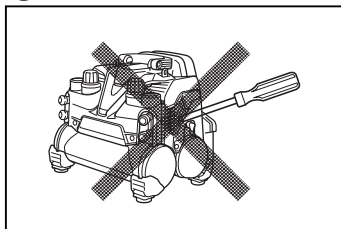
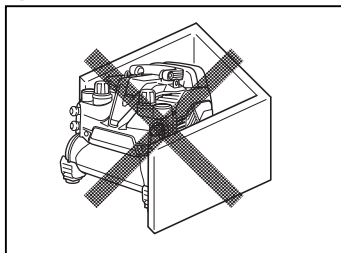
⑪ **開口部に指および釘、ドライバー、テープなどの異物を入れないでください。**
- 人身事故や製品の破損の原因となります。

⑫ **高温や直射日光の当たる場所や狭い箱などに入れての使用はしないでください。また、吸気・排気口をふさぐ状態でのご使用はしないでください。**
- 寿命低下の原因となります。

⑬ **ごみ、ほこりの多い場所や、鉄粉、砂じん、粉じん、木くずなどの異物がかかる場所では使用しないでください。**
- 加熱火災事故や異常摩耗の原因となります。

⑭ **カプラにエアセット、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。**
- 破損事故につながります。

⑮ **油断しないで十分注意して作業を行ってください。**
- 本機を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況などに十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは、使用しないでください。

⑩

⑪

⑫

⚠ 注意

① **アンモニア・酸・塩分・オゾンガス・亜硫酸ガスなどの腐食性ガスのある場所では使用しないでください。**
- 圧縮機全体の発錆や寿命低下の原因となります。

② **水平な床に設置して使用してください。**
- 転倒や破損事故の原因となります。

③ **コードに無理な力を与えないでください。**
- 断線やショート、モーター故障の原因となります。

④ **電源電圧が単相 100 Vであることを確認してください。また、エンジン発電機や直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。(当社インバータ制御付エンジン発電機は除く)**
- 起動不良やモーター故障および事故の原因となります。

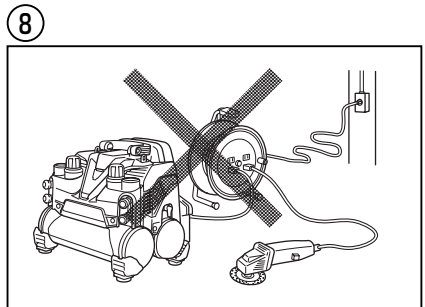
⑤ **本機が接続される電源に、感電防止用漏電しゃ断装置(15 mA相当)を設置してください。また、接地工事を必ず行ってください。**
- 漏電や感電事故の原因となります。

⑥ **電源は十分余裕のある 30 A以上の容量としてください。**
- 起動不良やモーター故障の原因となります。

⑦ **なるべく延長コードの接続をさけ、直接電源に接続してください。延長コードを使用する場合は、アース線を備えた 3 心キャブタイヤケーブルで太さ 2 ㎟以上、長さ 30 m以内としてください。**
- 起動不良やモーター故障の原因となります。

⑧ **延長コードで他の機器との併用はさけてください。**
- 起動不良やモーター故障の原因となります。

⑧

⚠警告

運転するとき

① 一般用カプラには別売の耐熱温度 60 ℃以上、最高使用空気圧力約 0.98 MPa {10kgf/㎠} 以上、呼び径 6 ㎜以上のホースを使用してください。高圧用カプラには高圧専用ホースを使用してください。
- 破裂事故の防止となります。

② エアホースは優良なエアプラグ、ホース金具で確実に固定されているものを使用してください。
- 抜けによる事故防止となります。

③ 空気工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には減圧弁を設定しないでください。
- 破損や破裂事故の防止となります。

④ ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および摩耗粉、さびなどが含まれます。顔に向けてドレンを排出しないでください。周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンコックを開いてください。また、顔を近づけてエアホースを抜かないでください。
- 失明など、けがの原因になります。

⑤ 落としたり、ぶつけたりしますと、空気タンクなどに変形や破損を生じ、運転中の圧力により、破損片が飛散し、人身事故につながる場合があります。

⑥ ハンドルに変形や破損およびねじの緩みがある場合、運搬中に落下して破損および人身事故につながる場合があります。

⑦ 空気タンク、樹脂カバーなどに変形や破損がある場合はそのまま使用せずにお買い求めの販売店に連絡し、修理してください。

⑧ コードを引っ張らないでください。
- 断線やショート、モーター故障の原因となります。

⑨ 本機に物を載せたり、座ったりしないでください。
- 破損や故障の原因となります。

⑩ 運転時、運転直後に空気タンク、ショルダーベルトフック、カバー取付けねじなどの金属部に直接手などで触れないでください。
- 空気の圧縮熱により高温となる場合があり、やけどの恐れがあります。

⑪ 本機を運搬するときは、各部の温度が十分さめてから行ってください。さらに必ずスイッチを切り、電源プラグを持ってコンセントから抜き、空気タンク内の圧縮空気を全部抜いてから運搬してください。

⚠注意

① 電源スイッチを切り、次に運転する場合は、10 秒以上の間隔をとってください。
- 起動不良の原因となります。

② 電源や配線の容量が不足し電圧が下がった場合は、空気を圧縮しないことがあります。適切な電源・配線で使用してください。

③ 電圧の低い状態および高い状態で使用されますと、性能低下さらに、故障の原因となり、製品寿命を短くしますので適切な電源で使用してください。

④ 停電および雷の場合、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 破損や事故の原因となります。

⚠警告

運転終了するとき

作業終了時には、必ず本機(コンプレッサ)の電源スイッチを押してOFFにしてから、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグを抜いて運転を停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、不意に運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう、規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

⚠警告

保守点検のとき

① 保守点検作業時は、必ず本機（コンプレッサ）の電源スイッチを押してOFFにしてから、電源プラグを抜いてください。
- 電源プラグを抜いて運転を停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、不意に運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。

② 空気タンク内の圧縮空気を完全に抜いてから行ってください。
- 感電やけがの原因となります。

③ ご購入後、実働 1,200 時間を経過したら、お買い求めの販売店へ連絡し点検（オーバーホール）を行ってください。
- 破損や事故の原因となります。

④ 交換部品は、必ず日立工機純正部品を使用してください。
- 破損や事故の原因となります。

⑤ 故障のときは、使用せずにお買い求めの販売店へ連絡し修理を依頼してください。

⑥ 空気タンクに空気漏れがある場合は絶対に使用しないでください。
また、空気漏れ箇所の補修、改造も絶対に行わないでください。
- 破損や破裂による人身事故の原因となります。

⑦ 製品の分解・改造および部品の改造は、絶対にしないでください。
- 破損や事故の原因となります。

⚠注意

① 長期間（1ヶ月以上）ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、5分以上の運転を行い、さび付きなどを防いでください。
また運転を再開する場合も同様の運転を実施してください。
- 異常摩耗、破損、事故の原因となります。

② 使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない場所に保管してください。

各部の名称とはたらき

本 体

高圧用減圧弁
・使用機器に合せた圧力を設定してください。
・最高取出し圧力は約2.5MPa{ 25.5kgf/cm²}となっています。

ショルダーベルトフック

一般用減圧弁
・使用機器に合せた圧力を設定してください。
・空気タンクの最高圧力は、約4.4MPa{44.9kgf/cm²}まで上昇しますが、使用機器の破損防止のため最高取出し圧力は約0.8MPa{8.2kgf/cm²}となっています。

パネル（次項参照）

ハンドル

ドレンコック
空気タンク内のドレンを毎日排出してください。

コード

コードフック

可倒式接地極
接地極のあるコンセントに接続するときは、運転の際、必ず接地してください。

減圧弁用圧力計
減圧弁により調整した圧力を示します。

樹脂カバー

3P(可倒式)電源プラグ
運転の際、コンセントに接続してください。

アースクリップ
接地極のないコンセントに接続するときは、運転の際、必ず接地してください。

空気タンク

高圧用カプラ
高圧空気の取出し口です。
高圧専用ホースを接続してください。

ドレン排出口
ドレンコックを開きますと、先端よりドレンが排出されます。

パネル

電源表示LED

【緑】：運転
【赤】：ロック
【黄】：回数制限

・通電して待機状態（スイッチOFF）のとき、
LED【緑】または【黄】がゆっくり点滅します。
・運転（スイッチON）のとき、
LED【緑】が点灯します。
・ロック状態のとき、
LED【赤】が点灯します。

電源スイッチ

運転、停止するとき操作してください。

点検警報表示LED

【赤】点滅：タンク内のドレンが一定量を超えた場合
【黄】点灯：オーバーホール時期が近づいたとき
【赤】【黄】交互に点滅：上記2つの状態が同時に発生した場合

セキュリティタグ読み取り部

運転モード切替表示 LED

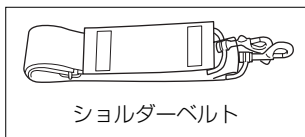
消灯：パワーモード
【赤】：オートモード
【緑】：静音モード
【黄】：省エネモード

運転モード切替ボタン

パワー、オート、静音、省エネ
運転モードを切替える場合に
押してください。
（P14「運転モードについて」参照）

デジタルパネル

空気タンク内の圧力および保護機能が作動した場合のエラー、
セキュリティ機能有効時の制限回数を表示します。
（エラーについては、P15「警報機能について」参照）
（セキュリティ機能有効時の制限回数については、
P17「セキュリティ機能について」参照）

付 属 品

ショルダーベルト

付 属 品

セキュリティタグ（４枚）

デジタルパネルの表示（空気タンク内圧力）について

- **運転状態（電源表示LEDが【緑】点灯）のときは、空気タンク内の圧力を表示します。**
- **空気タンク内圧力が最高圧力
（パワー・オートモード：４.４MPa　静音・省エネモード：３.２MPa）で
モーター停止後、
　パワー・オートモードは　４.４～４.３MPaまで４.４
　静音・省エネモードは　　３.２～３.１MPaまで３.２　と表示します。**
- **待機状態（電源LEDが【緑】点滅、または【黄】点滅）のときは、
Ｐ17「セキュリティ機能について」の表の項目「デジタルパネルの表示」参照。**

仕　　様

形名			EC 1245H2
使用電源			単相交流　電圧 100 V 周波数　50／60Hz 共用
モーター			直流ブラシレスモーター
出力			900 W
空気タンク内最高圧力			4.4 MPa {44.9 kgf/cm^2}
セキュリティ機能			有
運転モード			4モード （詳細は、P 14「運転モードについて」参照）
取出し可能圧力	一般		0～約 0.8 MPa {0～約 8.2 kgf/cm^2}
	高圧		0～約 2.5 MPa {0～約 25.5 kgf/cm^2}
シリンダ径×行程×シリンダ数	低圧		62 mm× 26 mm× 1
	高圧		40 mm× 11 mm× 1
パワーモード オートモード 省エネモード	回転速度		最大 2,300 min^{-1} {回/分}
	吐出し空気量	0.7 MPa {7.1 kgf/cm^2}	105 L/min
		2.3 MPa {23.5 kgf/cm^2}	70 L/min
静音モード	回転速度		最大 1,600 min^{-1} {回/分}
	吐出し空気量	0.7 MPa {7.1 kgf/cm^2}	65 L/min
		2.3 MPa {23.5 kgf/cm^2}	50 L/min
空気タンク容量			8 L
外形寸法(幅×奥行×高さ)			430 mm× 350 mm× 352 mm
質量			13 kg
空気取出し口	一般		カプラ× 2 個
	高圧		高圧カプラ× 2 個
コード			アースクリップ付 3 心キャブタイヤケーブル　約 2.5 m ［3 P（可倒式）電源プラグ付］

ご使用前の準備・点検

●使用環境について

⚠注意

外気温度が 5 ℃未満および 40 ℃を超える場合は、動作不良、寿命低下、破損の原因となります。

運転するときは、 4 本の足が確実に床面に接して、ガタつきがないように設置してください。使用できる外気温度は、5 ～ 40 ℃です。

●アース（接地）、漏電しゃ断機の設置

⚠警告

アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがあるので、絶対に取付けないでください。

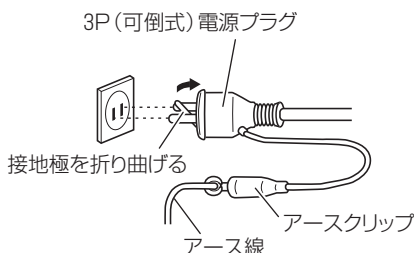
ご使用にさきだち、電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置（ 15 mA相当）（以下、漏電しゃ断器と言います）が設置されていることを確認してください。

本機は必ずアース（接地）をしてください。
接地工事は、電気工事士の資格が必要ですので、お近くの電気工事店にご相談ください。

アースクリップ付 3 P（可倒式）電源プラグはアース付（ 3 ピン）コンセントに直接さし込むことでアースクリップによるアースは不要です。

アース極のない 2 極コンセントに接続するときは、右図のように接地極を折り曲げてコンセントにさし込み、アースクリップをアース線に接続してください。

はじめに

使い方

●コードの取扱いについて

コードを本体部からすべて取りはずし、コンセントに接続してください。このとき、コードに無理な力を加えないでください。
また、電源プラグの金属部には手を触れないでください。

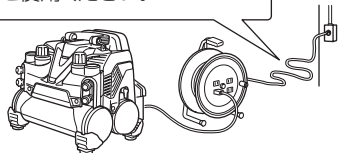
●延長コードを使う場合

⚠警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

延長コードを使用しますと電圧降下によるトラブルの原因となります。なるべく、延長コードのご使用を避け、元電源に直接接続してください。
また、電源からはなれた場所でご使用される場合にも延長コードの使用を避け、延長エアホースのご使用をおすすめします。

延長コードご使用時のご注意　（許容長さ 30 m）

太さ（mm²）	使用時の注意	
1.25	×	使用不可
2.0	○	使用可能
3.5	◎	安心して使用可能
元電源	◎	安心して使用可能

●使用電源の確認

ご使用できる電源は単相 100 Vのみです。またエンジン発電機や直流電源、昇圧器などのトランス類では使用しないでください。電源は十分余裕のある 30 A以上の容量としてください。

●コンセントの確認

電源プラグをさし込んだとき、コンセントがガタガタだったり、すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

●電源スイッチの確認

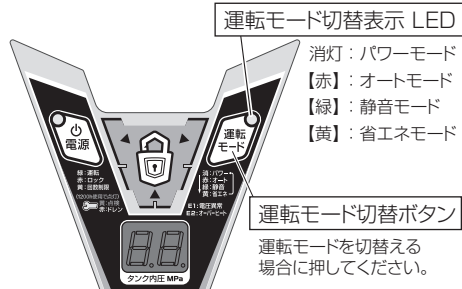
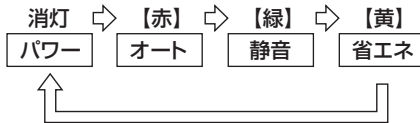
コンセントに接続し、通電させたとき、電源表示LEDが以下のようになり、待機の状態になることを確認してください。

セキュリティ機能　無効　　　　　：【緑】ゆっくり点滅
セキュリティ機能　有効　ロック　：【赤】点灯
セキュリティ機能　有効　回数制限：【黄】ゆっくり点滅

運転モードについて

本機は、使用空気量に応じON圧力を変えることができる運転モード切替機能を搭載しています。
運転モード切替ボタンを押すことにより、４つの運転モードを選択することができます。

操作方法

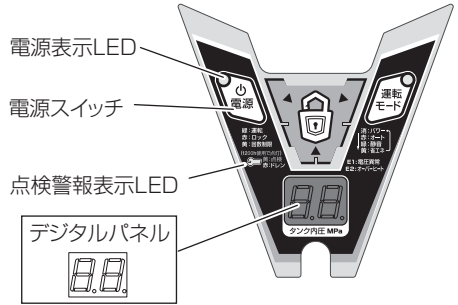
運転モード切替ボタンを１回押す毎に、
運転モードが切替わります。

運転モード	LED表示	デジタルパネルの表示 ※１	空気消費量	用　途	運転制御圧力		回転速度
					OFF圧力	ON圧力	
パワーモード	※２ 消灯	P	大	ねじ打機 エアインパクト 50～90 mm釘打機 一般圧釘打機 在来建築など	※２ 4.4 MPa {44.9 kgf/cm^2}	※２ 4.0 MPa固定 {40.8 kgf/cm^2}	最大 2,300 min^{-1}
オートモード	※２ 【赤】 点灯	A	大	ねじ打機 エアインパクト 90 mm釘打機 など		※２ 3.9または 3.2 MPa {39.8 または 32.6 kgf/cm^2} 空気使用量に 応じて可変	
			中	50 mm釘打機 一般圧釘打機 在来建築など			
静音モード	【緑】 点灯	S	小 ＋ 低騒音	内装作業 リフォーム 仕上げ釘打機など	3.2 MPa {32.6 kgf/cm^2}	2.3 MPa固定 {23.5 kgf/cm^2}	最大 1,600 min^{-1}
省エネモード	【黄】 点灯	E	中・小	一般圧釘打機 仕上釘打機 内装作業など			最大 2,300 min^{-1}

※１：デジタルパネルの表示は、切替後約０．５秒間です。
※２：パワー/オートモードは、長時間の使用で、温度上昇保護機能により自動停止する温度域に近づくと、自動的に運転を制御し、OFF圧力 3.2 MPa {32.6 kgf/cm^2}、ON圧力を 2.3 MPa {23.5 kgf/cm^2} にします。（LED表示は「黄点滅」）
作業量を抑えて温度が下がると、モータ再起動時に元の運転モードに戻ります。
また、運転制御状態で作業を継続すると、温度上昇機能が働き自動停止する場合があります。（P 15「警報機能について」参照）

使い方

警報機能について

本機は、電圧やモーターの異常時に自動的に運転を停止する機能と、これらの異常をデジタルパネルの表示または点検警報表示LEDの点滅/点灯でお知らせする警報機能を搭載しています。

モーターが運転を停止し、デジタルパネルに下表のようなエラーが表示されている場合、または点検警報表示LEDが点滅/点灯している場合は、下表により対応してください。

デジタルパネルのエラー表示	点検警報表示LED	原　　因	対　　応
電圧異常 E 1	ー	電圧が低すぎる、または高すぎるため運転を停止	電源や延長コードの接続を改善（P 12 ～13参照）し、「電源スイッチ」を押してください。デジタルパネルのE 1 表示が消灯を確認したのち、再度「電源スイッチ」を押してください。
オーバーヒート E 2	ー	制御回路、モーターが過熱し、運転を停止	電源や延長コードの接続を改善（P 12 ～13参照）し、また機体を風通しの良い場所に設置し直し、十分冷却（「デジタルパネルのE 2表示が消灯）したのを確認したのち「電源スイッチ」を押してください。
その他の異常 E 3	ー	その他の異常	お買い求めの販売店に連絡してください。
ー	【赤】点滅	空気タンク内のドレン量が一定量を超えた	電源プラグをコンセントから抜いてください。空気タンク内のドレン排出を行ってください。ドレンコックを徐々に開放し、ドレンをドレン排出口から排出後、ドレンコックを全閉にします。（P 9「各部の名称とはたらき」参照） 注 **電源プラグをコンセントから抜かないとLED【赤】の点滅は消灯しません。**
ー	【黄】点灯	本機の実働時間が 1, 200 時間に達した	P 25「保守・点検」「点検（オーバーホール）時期お知らせ機能について」を参照。

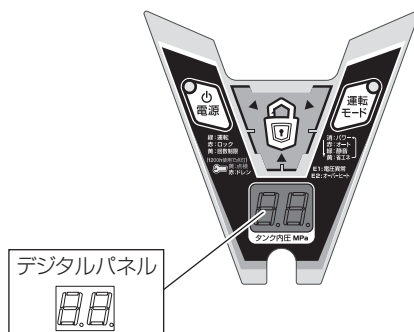
注 **運転再開後、モーターの停止、デジタルパネルのエラー表示または点検警報表示LEDの点滅/点灯が繰り返される場合、モーターの故障が考えられますのでお買い求めの販売店へ連絡してください。**
空気タンク内のドレン量が一定量を超え、本機の実働時間が1, 200 時間に達した場合は、点検警報表示LEDが【赤】【黄】交互に点滅します。

停電自動復帰機能について

⚠ 警告

作業終了時には、必ず本機（コンプレッサ）の電源スイッチを押してOFFにしてから、電源プラグを抜いてください。
電源プラグを抜いて運転を停止させると、次に電源プラグを接続させたとき、不意に運転が開始され、思わぬ事故やけがの原因になります。

突然の停電や不意に電源プラグが抜けるなどで、機体への通電が遮断された場合、通電が再開されると同時に、本機（エアコンプレッサ）の電源がONの状態に自動復帰します。

停電自動復帰機能動作の場合は、デジタルパネルが「８８」表示後、１秒間隔で「5」→「4」→「3」→「2」→「1」→「0」と表示したのち、運転を再開します。

インバータ制御について

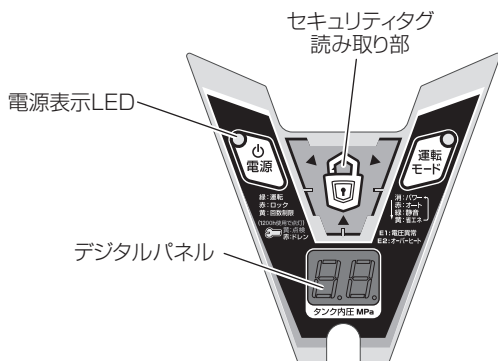
- 本機はインバータ制御により、回転数を変化させています。この回転数の変化により運転音が変化しますが、異常ではありません。
- ラジオなどに対して電波ノイズの影響を与える場合がありますので、状況に応じ本機より約1m以上はなして使用してください。

セキュリティ機能について

本機は、付属のセキュリティタグ（シール 4 枚）により、本体の電源投入回数を制限する機能を搭載しております。

なお、ご購入いただいた本体は、セキュリティ機能が無効設定となっております。

セキュリティ機能をご使用になる場合は、P 18「セキュリティ機能の有効/無効について」に従い、セキュリティ機能を有効にしてお使いください。

セキュリティ機能は、操作パネルの電源表示LEDから判断することができます。

セキュリティタグ（シール4枚）

電源表示LED	運転状態	セキュリティ機能	電源スイッチ操作	デジタルパネルの表示	本体運転の可否と対応
【緑】点滅	運転	無効	可能	タンク内の圧力値	運転できます。
【赤】点灯	ロック	有効	不可	表示なし	運転できません。 または、電源投入回数が 6 回を超えました。 セキュリティタグを読み取り部にタッチすれば運転できます。
【黄】点滅	回数制限	有効	可能	運転可能な回数	運転できます。（最大 6 回まで） セキュリティタグを読み取り部にタッチすると残りの電源投入可能回数が 6 回にリセットされます。

●セキュリティタグについて

本機にはシールになっているセキュリティタグが 4 枚付属されています。
セキュリティタグをお手持ち品に貼り付けてご利用ください。

注
- **セキュリティタグを金属表面および金属部品の近くに貼り付けないでください。**
  貼り付け部近くに金属部品があると、セキュリティの操作ができなくなります。
- **セキュリティタグはざらざらした表面や段差のある面、曲面には貼り付けないでください。**
  はがれやすくなったり、セキュリティタグに内臓しているICチップが破損する場合があります。

●セキュリティ機能の有効/無効について

本機のセキュリティ機能は初期状態では無効になっています。
付属のセキュリティタグにより、以下の手順に従い設定してください。

セキュリティ機能の有効化手順

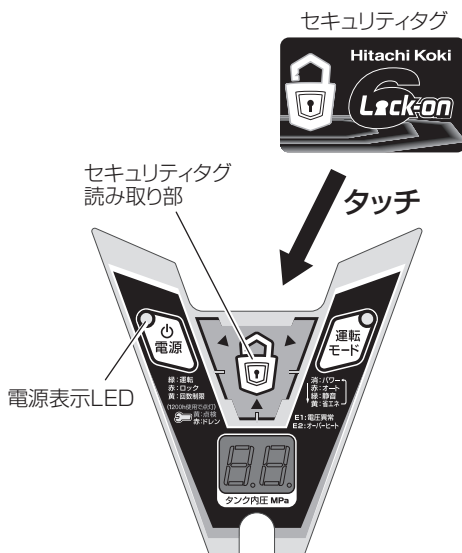
①アースクリップを接地してから、電源プラグをコンセントにさし込んでください。

②電源表示LED【緑】が点滅していることを確認してください。

※電源表示LED【赤】が点灯または【黄】点滅している場合は、すでにセキュリティ機能が有効になっています。

③セキュリティタグを読み取り部にタッチし、5 秒間そのままの状態で保持してください。

④電源表示LED【緑】が点滅から【黄】が点滅に切替ることを確認してください。

⑤電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

セキュリティ機能の無効化手順

上記セキュリティの有効化手順と同様です。
電源表示LED【赤】が点灯または【黄】が点滅の状態から、【緑】が点滅に切替ることを確認してください。

注　**電源表示LED【緑】が点灯の状態（本体運転中）では、セキュリティタグ読み取り部にタッチしても反応しません。**

使い方

運転する

一般建築作業における釘打機等エア工具への圧縮空気供給源としてご使用ください

⚠警告

- 一般用カプラには、別売の耐熱温度60℃以上、最高使用空気圧力約0.98 MPa {10 kgf/cm²} 以上、呼び径6㎜以上のホースを使用してください。高圧用カプラには、高圧専用エアプラグ・ホース以外は使用しないでください。
- 本機に接続するエアホースとホース金具は十分な耐圧があり、また確実に固定されていることを確認のうえ、使用してください。
- カプラに重量物を直接接続しないでください。
- 空気工具の最高使用圧力を確認し、それ以上の圧力には、減圧弁を設定しないでください。
- 連続運転となるようなご使用はしないでください。
- 運転中は、ショルダーベルトを本体からはずしてください。

⚠注意

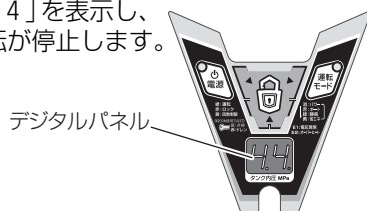
- 電源スイッチを切り、次に運転する場合は、10秒以上の間隔をとってください。短時間でON－OFF操作を繰り返しますと起動不良を起こすことがあります。
- コンセントに接続し、通電させたとき、電源表示LED【緑】または【黄】がゆっくり点滅することを確認してください。（電源表示LED【赤】が点灯の場合は、P 17「セキュリティ機能について」に従い、電源投入可能回数のリセットを行ってください。）
- 電圧の低い状態および高い状態で使用されますと、性能低下さらに、故障の原因となり、製品寿命を短くしますので適正な電源でご使用ください。

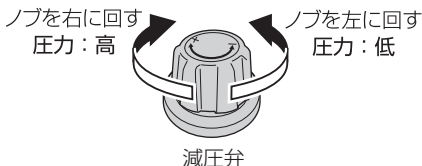
1 3P（可倒式）電源プラグをコンセントにさし込む

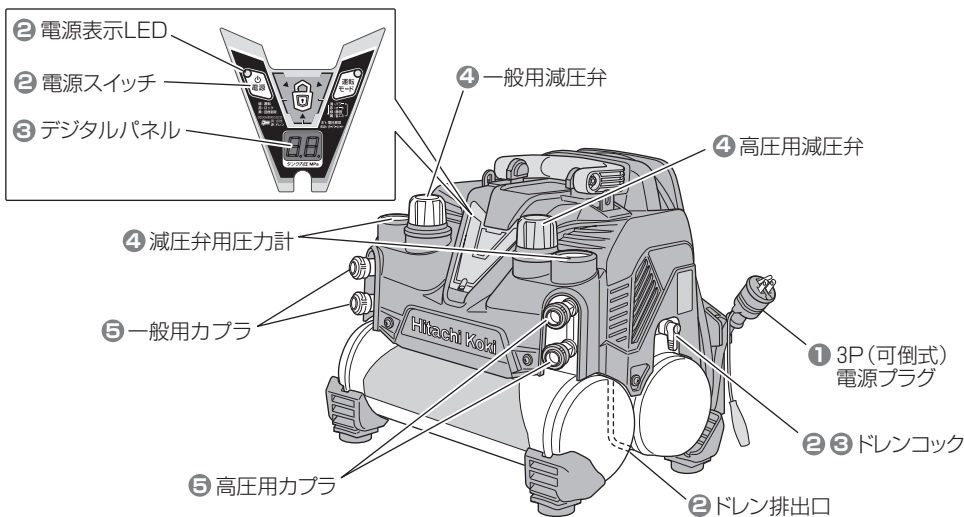
2 ドレンコックを全開にしてから、電源スイッチをONにする

- ドレン排出口から空気が出ることを確認してください。
- 電源表示LED【緑】が点灯します。

3 ドレンコックを全閉にする

- 空気タンク内の圧力が上昇するのにともない、デジタルパネルの数値が上昇します。
- 空気タンク内の圧力が約4.4 MPa {44.9 kgf/cm²} になりますと、デジタルパネルの表示が「4.4」を表示し、運転が停止します。

4 減圧弁で圧力を調整する

ノブを右いっぱいに回し圧力を上げ、次にノブを左いっぱいに回し圧力を下げたのち、減圧弁用圧力計を確認しながら、必要な圧力に調整してください。
高い圧力から調整しますと、使用中に調整圧力が下がる場合があります。

5 カプラにエアホースを接続し、作業を開始する

- 高圧用カプラには、高圧専用エアプラグ・ホースをご使用ください。
- エアセット、ペアソケットなどの重量物を直接接続しないでください。
- 減圧弁の調整圧力を下げたとき、接続ホースの空気は減圧弁から大気に逃がすようになっています。そのとき、シューという音がでます。
- 取出し空気中には、吸込み空気中の水分が結露してドレンとして混入します。取出しホース途中において別売のフィルターなどを通すことをおすすめします。

注
- ご使用の空気量が多く、空気タンク内圧力が大きく下がるような場合、減圧弁の特性により調整圧力が約 0.2 MPa {2 kgf/㎠} 程度上昇することがあります。
- 減圧弁で設定できる最高取出し圧力は、一般用で約 0.8 MPa {8.2 kgf/㎠} 高圧用で約 2.5 MPa {25.5 kgf/㎠} です。

寒冷地の場合

- 本機を保管する場合、氷点下の温度にならない場所に保管してください。
- ドレンの凍結による動作不良および空気量の減少、場合によっては損傷にいたることがありますので、本機自身を暖めてから運転させるような凍結防止の処理を行ってください。
- 低温での起動不良が発生した場合は、延長コードの使用を避け、ドレンコックを全開にして暖機運転をしばらく行ってから使用してください。

ご使用後について

⚠ 警告

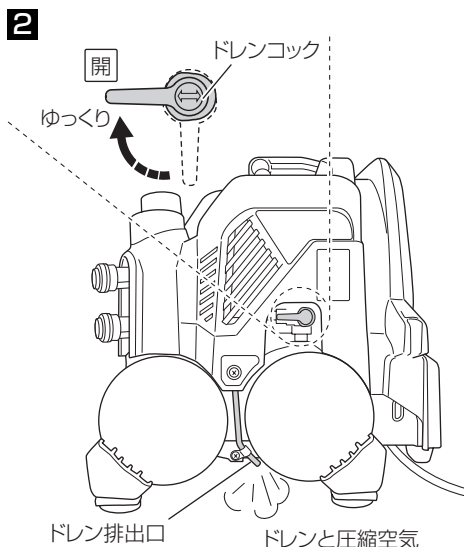
- **運転を終了するときには、必ず電源スイッチを押して停止させ、電源表示LED【緑】または【黄】が ゆっくり点滅の状態になっているのを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  電源表示LED【緑】が点灯している状態で、電源プラグをコンセントからはずすと、次に電源を接続した際に、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。
- **使用後や移動時には、必ず電源スイッチを押して停止させ、電源プラグを抜いてドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレンと圧縮空気を抜いてください。**
- **ドレンおよび吐出空気には、大気中の水分および摩耗粉、さびなどが含まれます。顔に向けてドレンを排出しないでください。周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンを排出してください。また、顔を近づけてエアホースを抜かないでください。**
  失明など、けがの原因になります。

1 電源スイッチを押して停止させてから、電源プラグを持って抜いてください。

電源プラグの金属部には手を触れないでください。

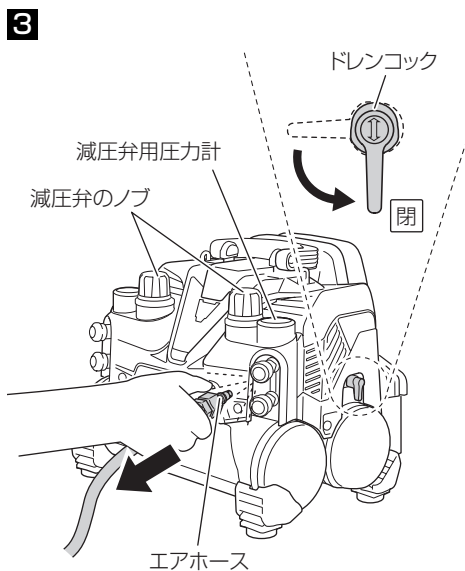
電源スイッチが運転状態（電源表示LED【緑】が点灯）のまま、電源プラグの抜きさしは絶対に行わないでください。

2 ドレンコックを徐々に開き、空気タンク内のドレンと圧縮空気をすべて抜いてタンク内のさびつきを防いでください。

注 **ドレンコックを急激に開きますと、地面、床等ではねかえったドレンおよび空気が体にかかる場合があります。周囲に飛散するものがないことを確認し、徐々にドレンコックを開き、排出具合を調整してください。**

3 空気タンク内のドレンがすべて抜けていることを確認してから、ドレンコックを閉じて、エアホースをはずしてください。

注 **空気タンク内の空気が残っているうちにエアホースをはずすと、ホース側の空気が放出され大きな音とともに、カプラ部に残っているドレン（水）が飛散します。**

3

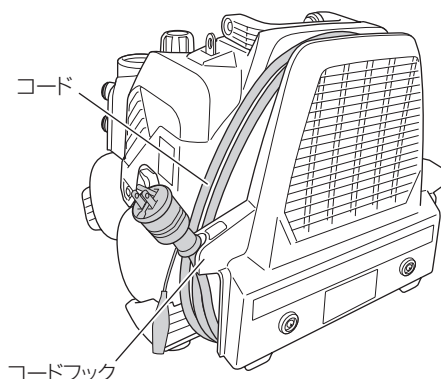
使い方

運搬について

⚠警告

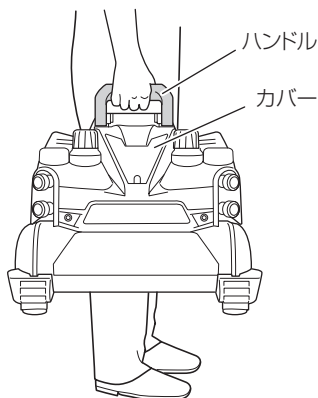
- 落としたり、ぶつけたりすると、空気タンクなどに変形や破損を生じ、運転中の圧力により、破損片が飛散し、人身事故につながる場合があります。
- ハンドルに変形や破損およびねじのゆるみがある場合、運搬中に落下して破損および人身事故につながる場合があります。
- 空気タンク、樹脂カバーなどに変形や破損がある場合は、そのまま使用せずにお買い求めの販売店に修理を依頼してください。
- コードを引っ張らないでください。断線やショート、モーター故障の原因となります。

●運搬はていねいに行ってください。

●車での運搬時は、動かないようにしっかり固定してください。

●コードをコードフックに取付けて、運搬してください。

●ハンドルの使い方

運搬・移動する場合は、右図のようにハンドルを持って行います。

ハンドルを使用しない場合は、カバー奥側または手前側へハンドルを倒しておいてください。

●ショルダーベルトの使用について

本機は運搬に便利なショルダーベルトを付属しています。ショルダーベルトは次の事項を守り正しくご使用ください。

⚠警告

- **ショルダーベルトは付属品を使用してください。**
- **ショルダーベルトは肩掛け運搬専用です。肩掛け以外（クレーン吊り、引きずり、壁掛け等）には使用しないでください。**
- **ショルダーベルトの金具および本機のショルダーベルトフックに亀裂、破損、変形がある場合は使用しないでください。**
- **ショルダーベルトを肩にかけた状態で、運転しないでください。**
- **ショルダーベルトを肩からはずして置く場合は、衝撃を与えないでください。**
- **運搬時以外は、ショルダーベルトを本機からはずしてください。**
  足を引っ掛けて、けがをする恐れがあります。

⚠注意

- **ショルダーベルトを使用する際は、ハンドルをしっかりつかみながら運搬してください。**
- **ショルダーベルトで運搬する際は、乱暴に扱ったり、振り回したりしないでください。**

保守・点検

高圧エアコンプレッサを調子よく長持ちさせるために、日常の手入れ、早めの点検（オーバーホール）が大切です。
以下の保守・点検をご使用のたびに行ってください。

●ドレンを抜く
●制御機器の作動具合を確認（圧力計、減圧弁）
●異常振動、異常音などの確認
●樹脂カバー、ハンドルのねじの緩み確認

●点検（オーバーホール）時期お知らせ機能について

本機には、実働 1, 200 時間を経過しオーバーホール時期が近づいたことを点検警報表示LEDの点灯によりお知らせする機能を搭載しています。

通電時にしたとき、点検警報表示LED【黄】が点灯 または【 赤】、【黄】が交互に点滅する場合には、お買い求めの販売店にオーバーホールを依頼してください。

●保管について

●長期間（約1ケ月）ご使用にならない場合は、保管前にドレンコックを全開にし、 5 分以上の運転を行い、さびつきなどによる不具合を防いでください。
●使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない場所に保管してください。

●故障のときは

⚠警告

- **修理は必ず、お買い求めの販売店に依頼してください。**
- **樹脂カバーを開けたり、分解をしないでください。**
  人身事故の原因となります。

次のような現象が発見された場合は、スイッチを切り、電源プラグを抜き使用をやめて直ちにお買い求めの販売店に修理を依頼してください。

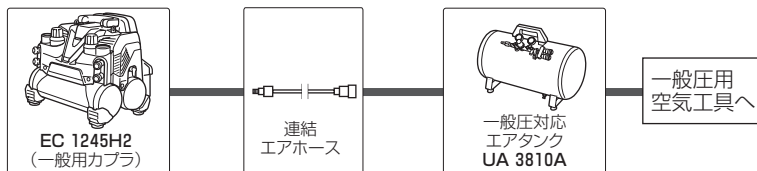
●電源スイッチを押しても運転しない。または、モーターが起動しない。
●運転中に異常振動、異常音がする。
●圧力が上昇しない。
●圧縮空気を使用していないのに 5 分以内に再起動する。
●空気タンクに変形や亀裂が生じた場合。
●デジタルパネルの表示が E.3. の場合。
●圧力センサが作動せず、リリーフバルブが作動し、圧縮空気が吹き出す。

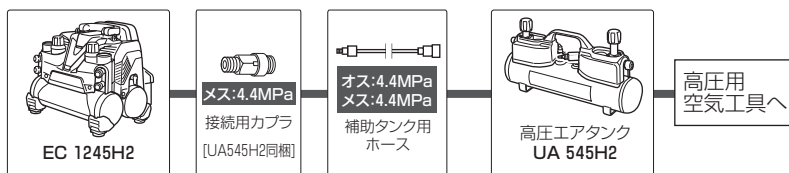
エアタンク（補助タンク）接続について

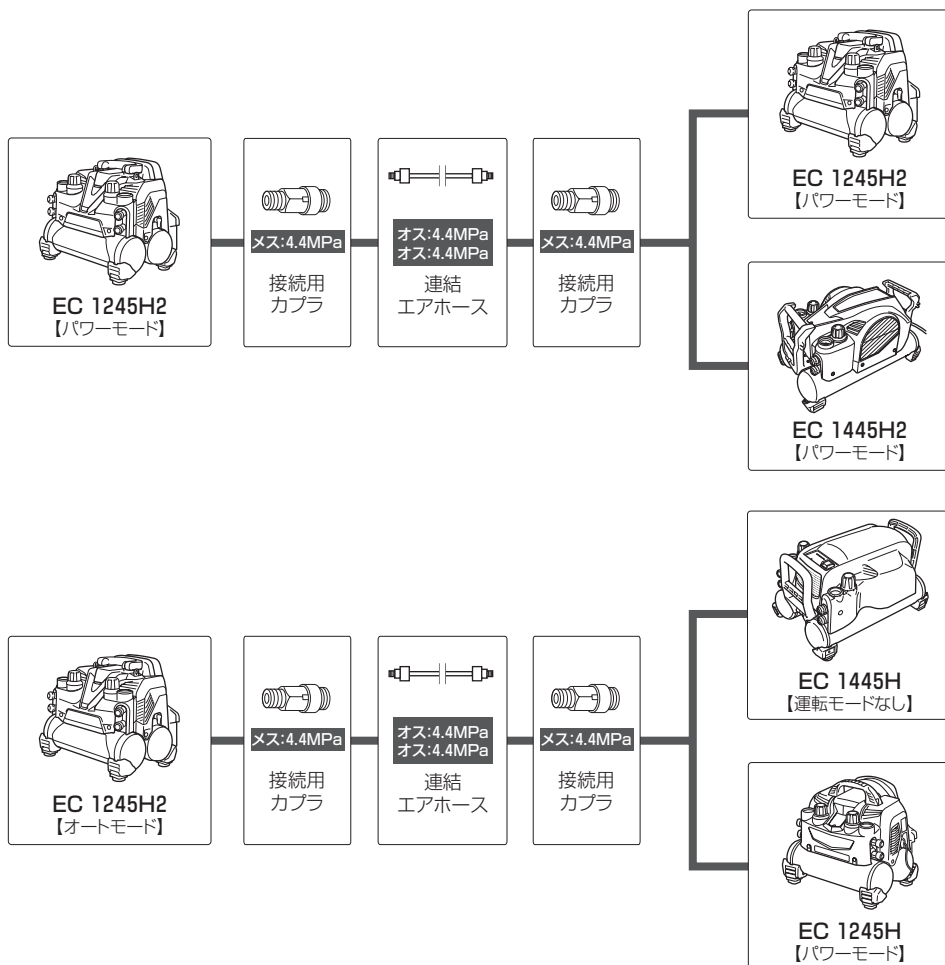
瞬時に多量の空気を消費する場合は、別売のエアタンクをご使用ください。

●一般圧対応のエアタンク【UA 3810A】の接続

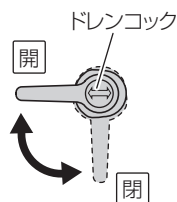
本機の一般用カプラと、エアタンク【UA 3810A】の空気取入口を別売の連結エアホースで接続してください。

注 **高圧用カプラへは接続しないでください。**

●本機の高圧専用エアタンク接続口に、【UA 545 H2】に同梱の接続用カプラ、別売の補助タンク用ホースを使用して、高圧エアタンク【UA 545 H2】を接続できます。

注 **接続用カプラの取付けは****P 29「高圧エアタンク【UA 545H2】および【EC 1445 H】【EC 1445 H2】【EC 1245 H】への連結方法」を参照してください。**

エアコンプレッサとの接続について

注
- EC 1245 H 2 を 2 台連結するときは、同じパワーモードに合わせてください。
- EC 1445 H、EC 1445 H 2 およびEC 1245 Hの接続用カプラ取付けはP 29「高圧エアタンク【UA 545H2】および【EC 1445 H】【EC 1445 H2】【EC 1245 H】への連結方法」を参照してください。
- 同一電源で 2 台接続しないでください。
- ドレンは、両機体から排出してください。
- 2 台連結は、エアを一時的に大量消費する用途（ねじ打機やエアインパクトなど）以外は使用しないでください。
  運転時間が片寄り、故障の原因となります。

●高圧エアタンク【UA 545H2 】および【EC 1445H】【EC 1445H2 】【EC 1245H】への連結方法

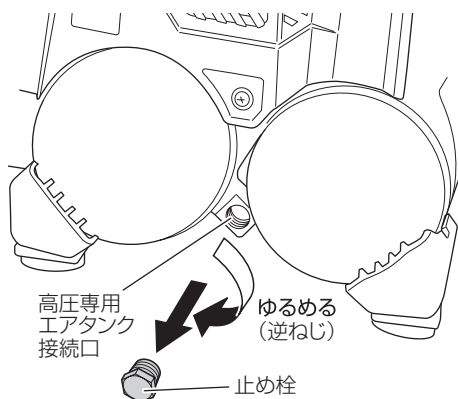
① 連結するエアコンプレッサのドレンコックを『開』にし、タンク内に圧縮空気がないことを確認してください。確認後、『閉』側にしてください。

①

⚠ 警告

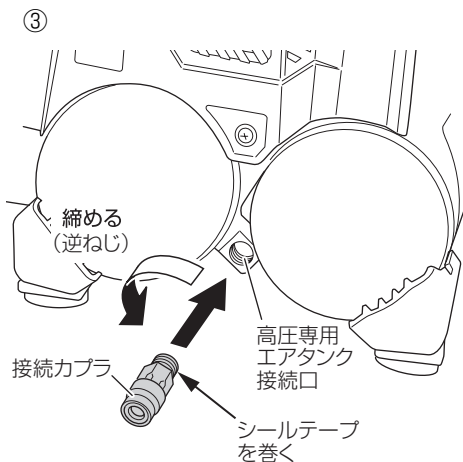
エアタンク内の圧縮空気が全て排出されていることを必ず確認してから止め栓をはずしてください。

注 **この止め栓は逆ねじになっています。右回り（時計の針の回転方向）でゆるめ、左回りで締め込みます。**

② 高圧専用エアタンク接続口の止め栓をはずします。

②

③ 別売の接続用カプラを高圧専用エアタンク接続口に左回り（反時計回り）で締め込みます。（ねじ部には市販のシールテープを巻いてください。）

注 【UA 545H2】には、標準で接続用カプラが同梱されています。

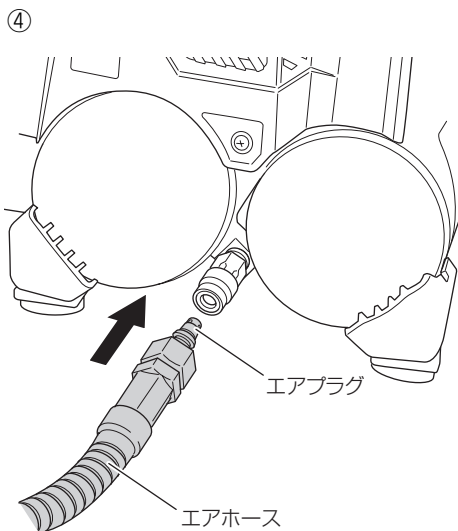
③

⚠ 警告

指定のカプラ、およびエアホース以外は接続しないでください。

④ 本機内へ圧縮空気を供給するためのエアホース※のエアプラグを接続します。

※【UA 545H2】は、
オス：4．4 MPa×メス：4．4 MPa補助タンク用ホース

【EC 1445H】【EC 1445H2】および
【EC 1245H】は、
オス：4．4 MPa×オス：4．4 MPa連結エアホース

④

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認の上、お近くの営業拠点へお問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(NO.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　　　年　月　日	製造番号(NO.)
販売店（TEL）	

全国営業拠点

お客様相談センター　※土・日・祝日を除く　9：00～17：00

●フリーダイヤル
0120-20-8822

※携帯電話からはご使用になれません。
携帯電話からはお近くの営業拠点にお問い合わせください。

※長くお待たせする場合があります。
お急ぎのときは、お近くの営業拠点に直接お問い合わせください。

●営業本部	●北陸支店
TEL (03) 5783−0626	TEL (076) 263−4311
●北海道支店	●関西支店
TEL (011) 896−1740	TEL (0798) 37−2665
●東北支店	●中国支店
TEL (022) 288−8676	TEL (082) 504−8282
●関東支店	●四国支店
TEL (03) 5733−0255	TEL (087) 863−6761
●中部支店	●九州支店
TEL (052) 533−0231	TEL (092) 621−5772

■ 営業所の移転等により、上記電話番号に連絡がとれない場合は、下記のアドレスにアクセスすることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/sales.html

右の QRコードをバーコードリーダー機能付きの携帯端末より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。

日立工機株式会社

〒108-6020 東京都港区港南2丁目15番1号（品川インターシティA棟）
営業本部　TEL（03）5783-0626（代）
電動工具ホームページ──http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

411
部品コード　C99217902 N